



# サトヤマキッズ

カラダをつくり、脳をはぐくみ、ココロを育てる

運動  
療育

感覚  
統合

自然  
遊び

参考資料 ※記載の内容は変更となる場合があります。

サトヤマキッズは  
「教育や指導」の場ではなく  
「養育と支援」をおこなう場所です

「教育」とは・・・指導者や先生が、なにかを習得する・  
技能を身につけるために教えたり、指導すること。

サトヤマキッズの考える「養育と支援」とは・・・  
ともに遊び、ともに学び、ともにさまざまな経験と体験をし、  
こどもたちの豊かな未来の土台を創りあげること

せんせい  
「先生」ではなく「伴走者」として

ともに遊び、ともに学び、ともにさまざまな経験をし  
こどもの主体性を第一に自分らしく成長してもらう

「教える」場所ではなく  
こどもたちの発達を「育む」場所であること

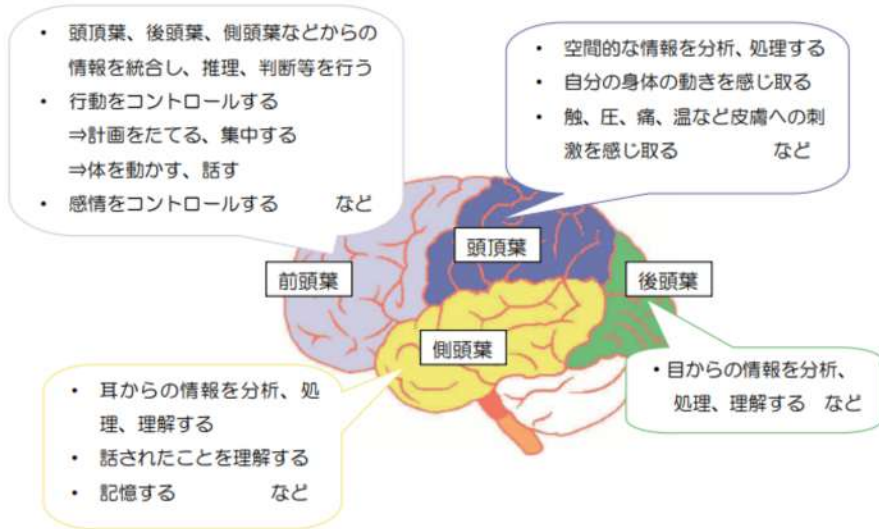
成長を支える伴走者としてこどもたちと向き合います



児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員など専門職が  
こどもたちのサポートをします！

こどもたちには「先生」ではなくお名前か、「おにいさん・おねえさん」と呼んでもらっています

## 発達に凸凹・特性のあるこどもの"脳"



発達の凸凹や特性は、以前は保護者の愛情不足や養育の誤りと思われていた時代がありました。

しかし最近では研究が進み、発達に特性のある児童は、生まれつき**脳の機能に違いがある**ことがわかりました。脳機能の違いが行動に影響しているのです。

支援者が子供の脳の働きの特徴を知り、特徴に合わせた支援をすることが重要です。

## 運動あそびは脳に絶大な効果アリ！

脳科学の研究で、幼児期の運動あそびが**脳の司令塔「前頭前野」**に好影響をもたらすことが実証されています

「前頭前野」  
が司るもの



行動の抑制



集中力



感情のコントロール



記憶力



## 運動あそびで脳細胞が増える！運動が"育脳"に役立つ5つの要因

運動をすると・・・脳由来神経栄養因子（BDNF）が脳内でつくられる

タンパク質の一種で、脳への肥料のようなもの。これを与えると脳細胞が生まれ成長することがわかっています。

運動をすると・・・新しい神経回路がつながる

脳は、細胞だけでは機能せず、神経回路の発達こそがカラダの機能や知性、ココロの発達に繋がり、運動が回路を強化します。

運動をすると・・・インスリン様成長因子（IGF-1）が多く分泌される

記憶を保ったり、強くしたりする働きがあり、運動すると血液を細胞へ運ぶ毛細血管を増やす因子も分泌されます。

運動をすると・・・有酸素運動で脳が活性化

有酸素運動をすると血流がよくなり、脳へたくさんの酵素やエネルギー源が送られる。その結果、脳のエンジンがかかり、脳に活力が出て、やる気が起きます。

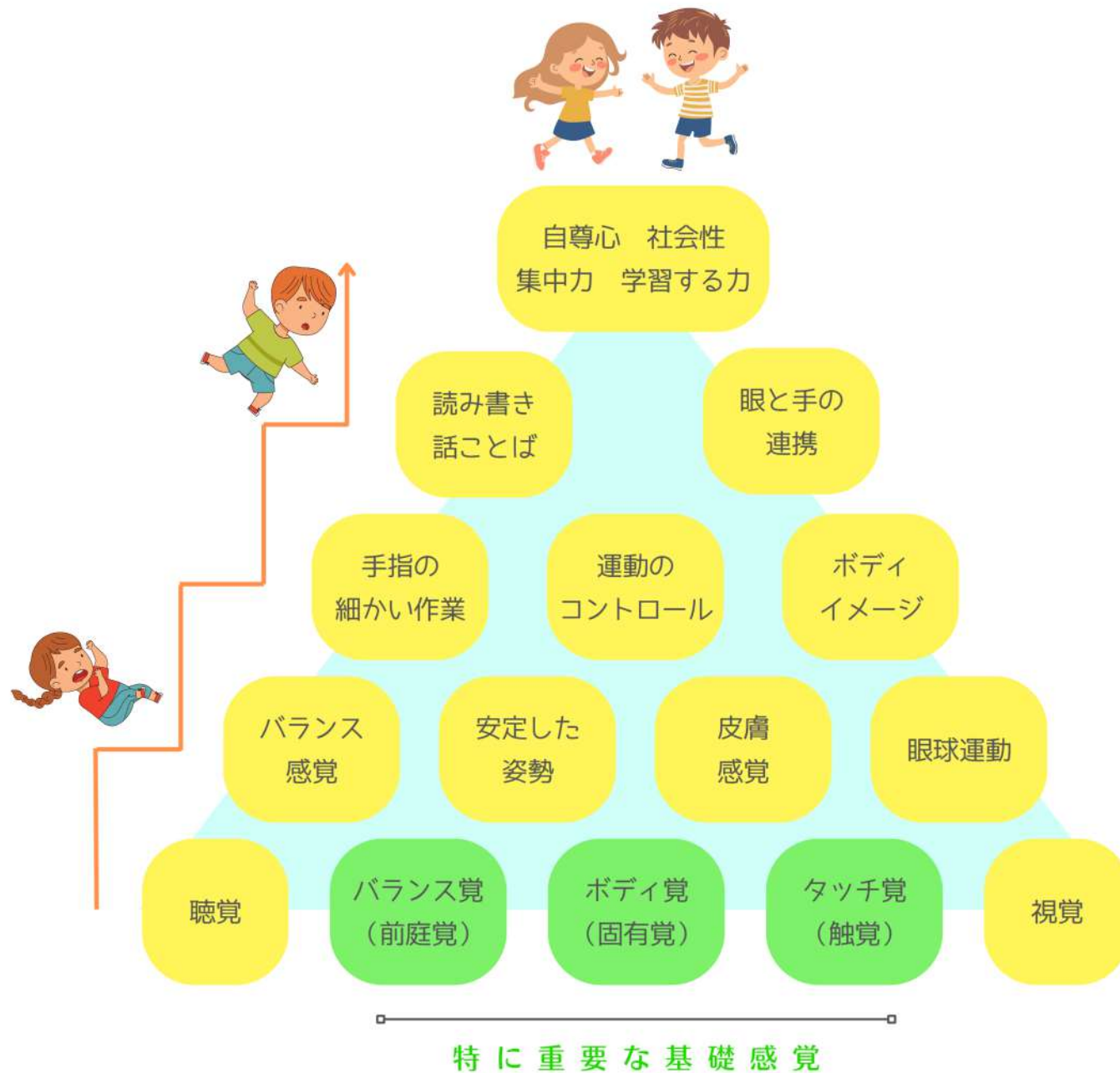
運動をすると・・・セロトニンやドーパミンなどの神経伝達物質がつけられる

ドーパミンは、脳の前頭葉を活性化させ、気持ちを前向きにして集中力を高めます。セロトニンは幸せホルモンとも呼ばれ、ドーパミンを適正量に保つ働きがあります。

発達に特性のある子どもたちは、セロトニンが不足しやすく、不安やストレスを感じやすいと言われています。



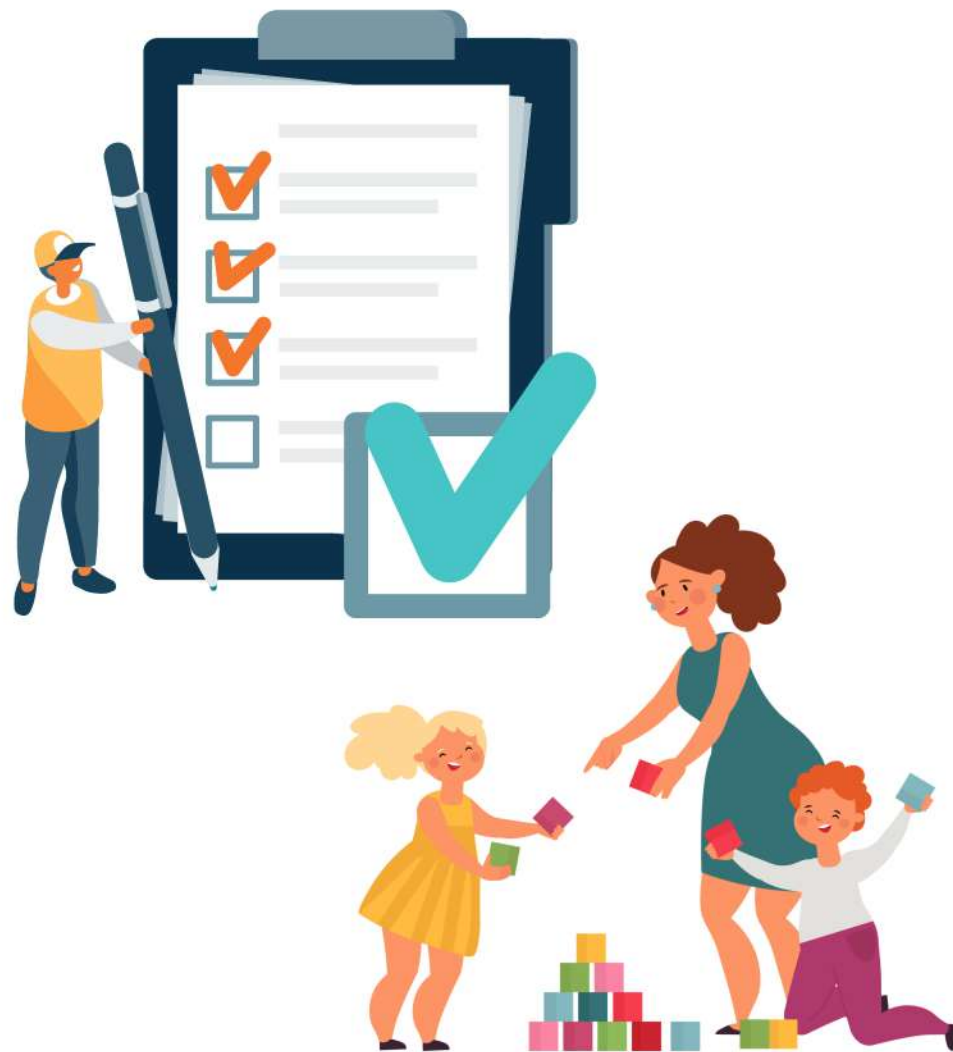
## “サトヤマ式運動あそび” は『感覚統合』理論をベースとしています



私たちは脳に流れ込んでくるさまざまな感覚情報を、脳で認知して選択・整理し、判断したことを運動神経を介して筋肉に伝え、運動を起こしています。発達の段階で育っていく、この感覚情報の適正化と組織化を『感覚統合』と呼びます。

発達に凸凹を持った子どもたちは、感覚情報を統合することが難しく、いろんな適応力のつまずきを起こしています。サトヤマキッズでは、“発達の積み木”を正しく積み上げるための感覚統合の考えにもとづいた運動/自然あそびを実践していきます。

"感覚の受け取り方"に関する  
 アセスメント（査定）を実施し  
 児童の特性に合った支援計画を立案しています



脳とココロの成長に役立つ運動プログラム

- STEP1 困り感の発見⇨課題の整理
- STEP2 療育プログラムーアプローチの決定
- STEP3 さまざまな感覚の習得⇨脳とココロの成長
- STEP4 困り感のある行動の軽減
- STEP5 園や学校、家庭での生活への落ち着き
- STEP6 自己肯定感の高まり、生きにくさの軽減



# 運動保育のプロ、心理師、理学療法士が 共同で構築した楽しい『運動あそび』プログラム



## サトヤマ式運動あそびの開発者たち

FUN SPORTS PLANNING

長崎 将利



運動あそびマスターとして長年活動。  
サトヤマ式運動プログラムの開発に協  
力、現場で実践と支援にあたる。

茨城大学

公認心理師/臨床心理士

進藤 純平



精神医療とスクールカウンセラーの  
経験から、サトヤマ式運動プログラ  
ムを発達心理学的トレーニングプログ  
ラムへと発展させる。

理学療法士

山口 裕亮



感覚統合を基にした医学的運動リハ  
ビリテーションの見地から、サトヤ  
マ式運動プログラムを構築。

サトヤマキッズでの支援は、すべて“あそび”を通じた活動とすることを私たちは大事にしています。  
療育活動の中心として「運動あそび」をおこなうことが多いですが、こどもたちが“楽しんでくれる”ことを重視します。  
ですから「運動」でも「練習・トレーニング・リハビリ」でもなく『運動あそび』です。

## 運動が苦手なこどもにこそ、やってもらいたいプログラムです

わたしたちのプログラムは、運動の上達や達成を目標としていません。  
楽しくカラダを使って遊んだ結果、カラダを動かす楽しさを知ってもらいその上で、  
身体のさまざまな感覚を身につけることを目的としています。



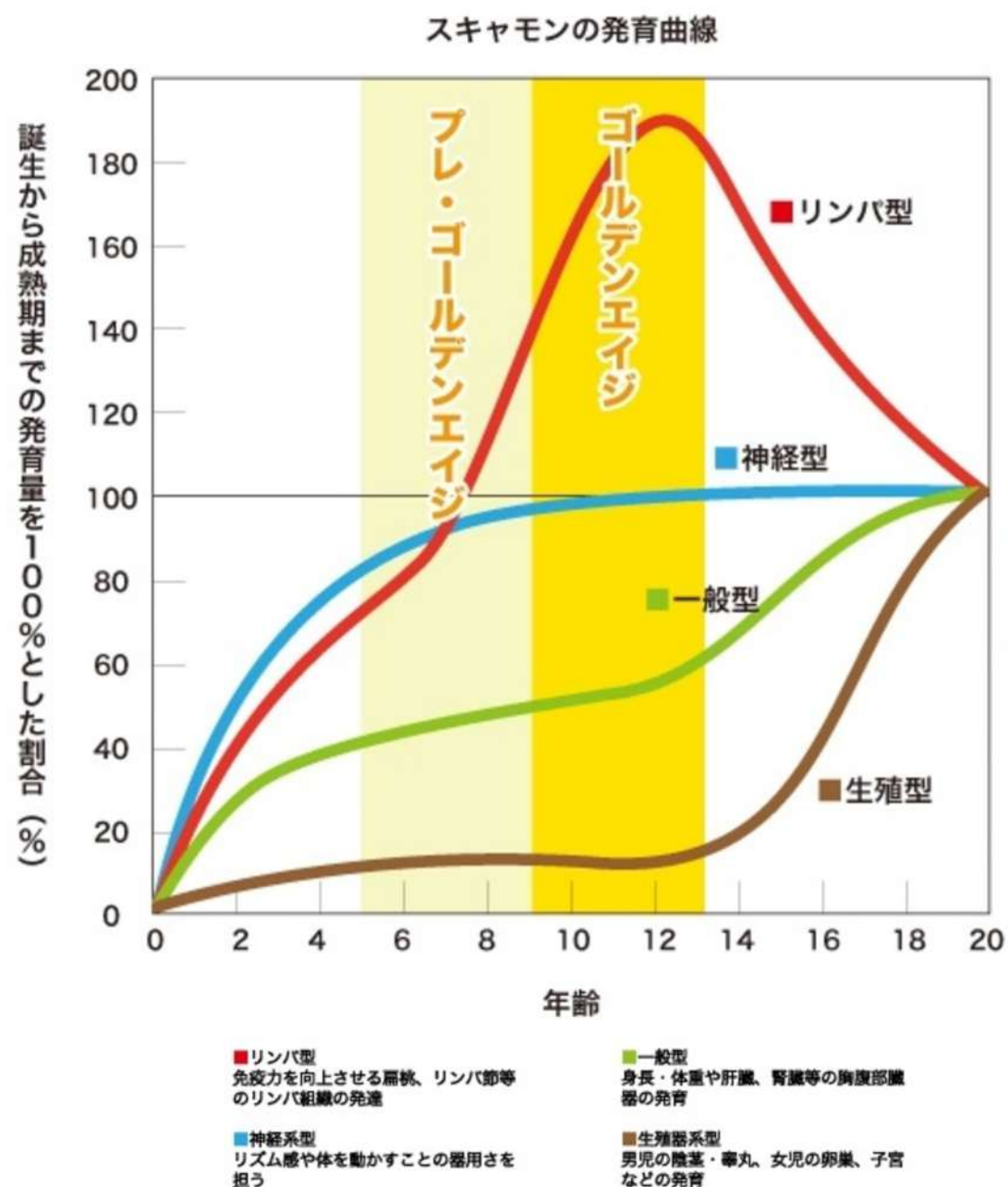
例えば、発達ピラミッドの最終段階の「学習」に難しさがあるとしても、その学習内容について反復練習をするのではなく、難しさの要因つまり発達ピラミッドの下の段階（＝土台）である、認知機能や運動、感覚機能にアプローチすることで「学習」に良い影響を与えると考えられています。そして、感覚統合では「遊ぶこと」とお子様の「モチベーション」を重要視します。こどもたちが活動を楽しみ、かつ「少し難しい」にチャレンジ/没頭している状態を「フロー状態」と言い、脳の学習効果が一番高いと言われています。



こどもの脳の発達に必要なこと、それは運動＝体を動かすことが一番大切なことです。  
それもただの運動ではなく、こどもたちが「楽しいとき」「夢中になっているとき」「好奇心をかきたてられているとき」こそが、脳がグルグル動き、神経回路が繋がり脳神経のネットワークをつくり、脳と身体と心が発達しているときです。

「カラダをつくり、脳をはぐくみ、ココロを育てる」をモットーに、こどもたちは楽しく遊び、そして社会生活に必要な力を養う。それが私たちサトヤマキッズのアプローチです。

# 一生に一度しかない今の時期にカラダと脳の「土台」づくりを



3～8歳のこどもは**プレゴールデンエイジ**と言われる、脳をはじめとする神経回路の発達が著しく、急激な成長を迎える時期です。運動能力の基礎はこの年代で80%が形成されます。この時期に様々な神経を刺激し運動コントロール能力を高めることで、ゴールデンエイジ（9～12歳）での成長をより促します。

9歳から12歳頃のこどもは、**ゴールデンエイジ**と呼ばれ、神経系の発達がほぼ完成し、動きの巧みさを身につけるのに最も適している時期です。また、一生に一度だけ訪れる、あらゆる動作を短時間で覚えることのできる「**即座の習得**」を備えた時期として重要視されています。

ただしこの「**即座の習得**」は、それ以前の段階で様々な運動を経験し、神経回路を形成している場合にしか現れません。だからこそ「**プレ・ゴールデンエイジ**」の時期の**経験が重要**になるのです。

## サトヤマキッズ 施設環境について

プレイルーム



運動したり、工作したり  
遊んだり、食事したり  
日々のメイン活動をする場所です

スタディルーム



就学児で希望される方は  
日々の宿題をサポートします

広大なお寺の敷地すべてが私たちのあそび場です

大きな本堂



自然豊かな境内



自然の中での運動はカラダと脳に与える影響が二乗の効果！

免疫力の増加



脳由来神経栄養因子 (BDNF) の  
生成量がグンとアップ！



さまざまな  
感覚刺激



自然と伝統あふれるお寺の環境を活かしてサトヤマキッズで経験できること

落ち葉で焼き芋



梅ジュースづくり



おもちつき



ムシ採り



植物や野菜育てる



ほかにもたくさん！

※なお仏教教育的なことは実践しておりません

## 《五領域の支援について》

サトヤマキッズでは、主に“運動あそび”と“自然あそび”を通じて、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の五領域を踏まえながら  
 ◆運動機能◆認知能力(学力、記憶力など)◆非認知能力(意欲、協調性、自制心とやり抜く力、自己肯定感など)の育みにアプローチします。



# 「健康・生活」

ねらい

- 心と身体の健康の維持・増進
- 基本的な生活習慣やスキルの獲得

## 【支援内容の例】

●心身面の健康状態の把握



●手洗い・あいさつ・片づけ・食事など生活スキルの支援



●運動の習慣化による心身の安定



●理学療法士等によるボディケア



●定期的な身体測定



# 「運動・感覚」

ねらい

- 感覚面の発達促進、運動機能の向上
- 成功体験の積み重ね
- 達成感や意欲、やり抜く力の育み

## 【支援内容の例】

- 感覚統合をベースにした運動あそび  
前庭覚・固有覚へのアプローチ



- 自然の中でのあそび  
自然を楽しみ自然から学ぶ



- ボディケアによる感覚入力促進  
固有受容覚へのアプローチ



- アートづくり・工作あそび  
微細運動の向上



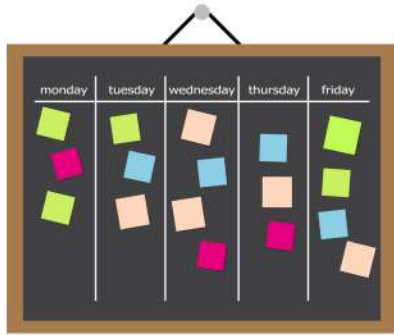
# 「認知・行動」

ねらい

- 認知や行動の手がかり、色・形・大きさ・数・時間といった概念の形成
- 学習する力の育み

## 【支援内容の例】

- 構造化による環境調整  
(スケジュールボード、タイマー使用など)  
先の見通しを持つための視覚支援



- ビジョントレーニング  
視覚認知能力や空間認識能力の向上



- 運動あそびによる  
ボディイメージ形成、実行機能の向上



- 宿題の時間 ※放デイ  
学校の宿題をやる子は時間を設けてサポート



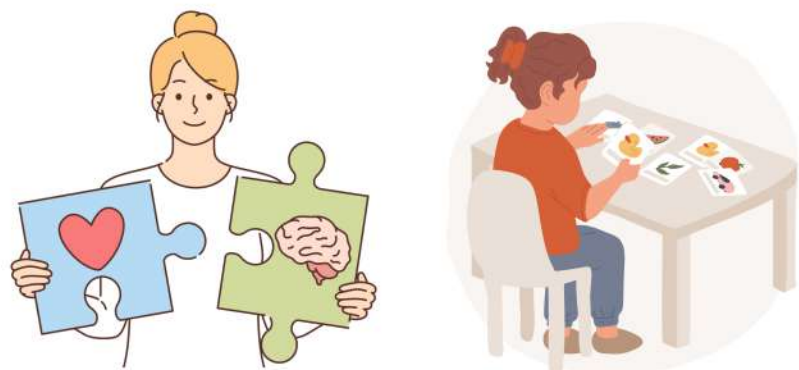
# 「言語・コミュニケーション」

ねらい

- 言語の形成と活用、言語の受容及び表出
- コミュニケーション能力の向上
- コミュニケーション手段の選択と活用

## 【支援内容の例】

- 絵カードでのコミュニケーション  
自分の思い・考えを伝える力を育む



- 絵本の読み聞かせ ※児発



- 異学年でのグループ活動によるコミュニケーションの発達  
協働、助け合い、お互いの行動の振り返り 考えていることや感情を言葉に置き換える練習



# 「人間関係・社会性」

ねらい

- 自分を知り、他者と共に生きることを学ぶ
- 身近な世界にある事物の経験、発見、探求
- 自分とは異なる他者との違いを知る

## 【支援内容の例】

- ソーシャルスキルトレーニング・アンガーマネジメント  
"自分自身のことを知る"



- 施設外での社会体験活動 ※放デイ  
社会を経験、他者との違いの学び



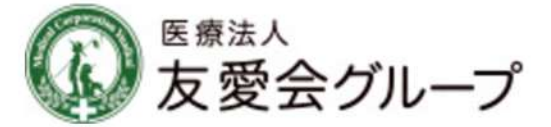
- あそびによる社会性や対人関係の発達  
"あそびは学び"



- 催し 喜びも悲しみも感情をわかちあう  
誕生日を祝ったり、季節を感じる行事をしたり



## 身近な世界とつながりながら、共に生きることを学びます



大人も子どももシニアも、そして動物や他の生きものたちがゆるやかにつながり共生する居場所、そしてヒト・モノ・ココロが循環し、幸せが溢れる持続可能な次世代の地域社会の在り方を目指し、医療福祉にとどまらず、地域と協働する活動を展開しています。

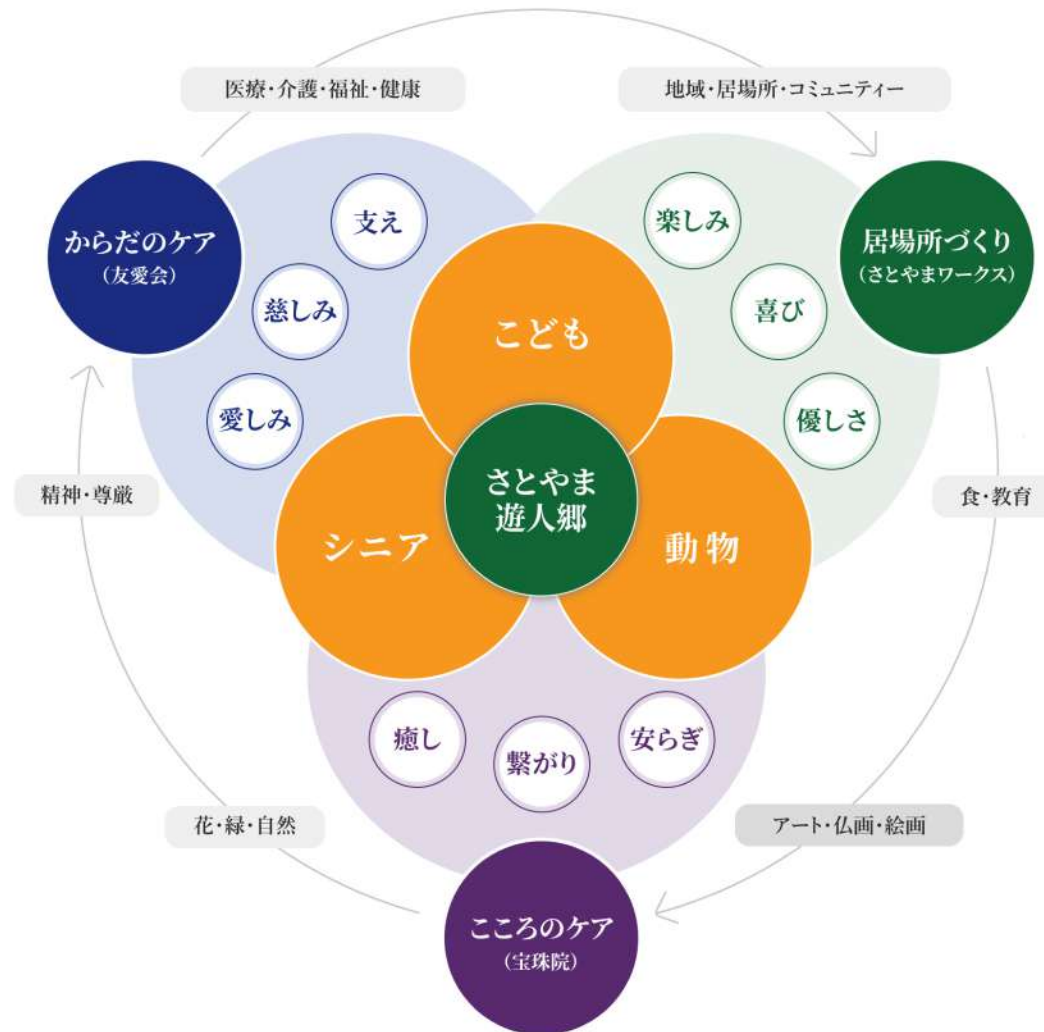


治療・リハビリ



介護・看取り

### ヒト・モノ・ココロが 循環し共生する場所



発達支援



子ども食堂



ヨガ



シニアeスポーツ



花・緑



健康教室



生物・湧水・自然



ボランティア・寄付



お祭り



餅つき



仏画



アートイベント



お寺



保護動物譲渡会

## かかる料金について

### 《利用料》

#### ■児童発達支援（未就学児）・・・無償

無償化の対象となる期間は「満3歳になって初めての4月1日から3年間（小学校就学まで）」

#### ■放課後等デイサービス（小学生以上）

原則1割負担。世帯所得に応じて月額上限額が定められています。

(1)非課税世帯 0円

(2)市町村民税課税世帯 所得割28万円未満(収入が概ね年間890万円以下の世帯) 4,600円

(3)市町村民税課税世帯 所得割28万円以上(収入が概ね年間890万円以上の世帯) 37,200円

※法改正に基づき改定となることがあります。

### 《通所給付費対象外サービスの料金》

保険による通所給付費の対象とならない料金については、以下の通り実費をご負担いただきます。

【児 発】おやつ代…利用1回につき50円

【放デイ】おやつ代および教材費…利用1回につき100円

【共 通】

- ・昼食費…お弁当購入に係る費用を必要に応じて実費（1食500～700円程度）
- ・行事等参加料金…必要に応じて実費（交通費、施設入場料等）
- ・創作的活動費用等…必要に応じて実費（材料費等）
- ・そのほか…日常生活において通常必要となるものに係る経費であって、保護者負担が適当と認められるものの実費。（紙おむつ、おしりふきなど）

■事業所名  
 児童発達支援・放課後等デイサービス  
 サトヤマキッズ

■利用時間

- ◇児童発達支援（未就学児）
  - ・平日：9時～11時（月曜は開所なし）
  - ・土曜：9時～11時
- ◇放課後等デイサービス（小学生）
  - ・平日：放課後～17時
  - ・土曜：12時～16時
  - ・長期休暇：10時～16時

■休業日

日曜日・祝日、お盆期間、年末年始等

■定員：10名/日

 [www.satoyamakidz.link](http://www.satoyamakidz.link)

 @satoyamakidz



 050-5536-3023 (代表)



〒410-0304 沼津市東原566-1 宝珠院内  
 さとやま整形外科内科 隣り

ご自宅、通園/通学先まで送迎いたします  
 （送迎範囲は概ね施設より15分圏内です）